

平成 30 年 6 月 29 日

報 告 書

大田原市広報広聴委員会委員長 櫻井 潤一郎 様

大田原市議会 第 1 班班長 菊池久光

大田原市議会報告会実施要項第 9 条第 1 項の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日 時 平成 30 年 6 月 26 日（火） 午後 7 時 00 分～8 時 30 分
2. 会 場 両郷地区公民館
3. 担当議員と役割
【担当議員】
 - 菊池 久光 (班長)
 - 菊池 久光 (司会者)
 - 菊池 久光 (総務常任委員会発表者)
 - 黒沢 昭治 (民生 //)
 - 弓座 秀之 (建設産業 //)
 - 大豆生田 春美 (文教 //)
 - 引地 達雄 (民生常任委員会)
 - 高崎 和夫 (文教常任委員会)
4. 参加者 別紙受付表のとおり
 - ・市内 33 名 (男性 23 名、女性 10 名)
 - ・市外 0 名 (男性 0 名、女性 0 名)

5. 意見交換会の内容

Q 文章のまとまりがない

A

Q 見てきたものの報告のみで議員自ら考えたものがないのは寂しい。

A 市ではコミュニティスクールを始めた。地域と連携していかねばならない。神崎市は文部科学省が先進地として薦めているところ。

Q 視察は2~3人で行けばよいのでは？6人いれば二か所に行けるのでは？

視察が物見になっている感がある

A 6~7人の委員会になっている。政務活動費は平成21年に廃止され事務局職員も同行する。

Q 視察は市民の目としていくのだから目的はもっと明確にした方がよい。

議会言葉ではなく易しい言葉で伝えていった方がよい。

聞いていてわからないのが問題、わかりやすい表現が必要。

文教は多少わかりやすかった。

A 貴重なご意見ありがとうございます。

来年はもっと解り易く、これは反省点として来年に活かしていく。

Q 私も6~7年前に娘2人を連れて移住してきた。田舎の良い所をなんでもっとPRできないのか。

A

Q 学童について大田原市ではさっき説明のあったようなやり方(文教の報告)はやってないですね

A 今はまだやっていない。これから中学校区でコミュニティスクールをやっていく。神崎市のようにできればいいなと思っている。

Q 大田原は3年か4年までですね。学童は。

各学校単位でやっていただけるといい。

A 今度、6年になった。

Q 私たちのように年金をもらって生活していて時間がある人が沢山いる。どうしてその人たちを活用しようとしらないのか。

A 今日戴いたことを良く精査して一般質問等で活かしていければと思う。

Q 視察にいつてみてきた話を聞いてもしょうがない。視察してきたことをすぐ実行しないと意味がない。

A 貴重なご意見ありがとうございます。

Q 小中一貫をやっているみたいだが、簡単にいうとどんなものか。

A 小学校から中学校に上がると、凄くギャップを感じる子供たちがいる。小学校のうちから中学校と連携をとり、スムーズに中学校に入っていけるように連携をとっていく。

Q 那須町には環境にすごく力を入れてゴミ拾いをしている人もいる。大田原にはいるか。(何人かから、いるよという声あり)

A 各地域でゴミ拾いだけではなく草刈りをしたりだとかそういう人も多くいらっしゃるのではないかと思う。

Q 議員はもう少し勉強してほしい。

A 政治離れも進んでいるので挽回できるように頑張って参ります。

Q いただいた資料の中で常任委員会の資料が入っていない人がいた。今後徹底してほしい。

A わかりました。

Q 夏休みの期間中、孫二人を学童保育館に預けているが、利用料金が高く、1人1日1,500円、月に2人で10万円ほどかかってしまう。利用料金が安くないか。出来ないのなら、補助金を考えてほしい。

もう少し安く出来ないか、田んぼや畑に孫を連れていけないので。

A ここでお答えできなくて申し訳ないが市当局にこういう話があったと伝える。

- Q 入学当初の1年生のランドセルの中身が多く、子供たちは四苦八苦している。もう少し軽量の持ち物にならないか検討願いたい。
特に月曜日はスポーツ用具・靴など。
教育委員会との考え方の違いがあるのかもしれないが、子供の姿を見ていると耐え難いものがある。
- A 全国の学校の中には学校に置いていける改革をしているところもある。
そういった意見があれば教育委員会の方にも相談していくのも必要かもしれない。
- Q 市道大輪～中田原線へ歩道の設置をお願いしたい。
数年前に死亡事故があった、広い水路がある、用地が無いのかもしれないが、歩道を作ってもらいたい。
- A 市はなかなか財政的に厳しいのが現状。やらないという訳ではないと思うが、そこも話はしましょう。
- Q 健康施策で医療費減額に結果がでてきているのか。
国保税(医療費)が安くなるような健康施策をどんどん講じてほしい。
- A 本市では健幸マイレージを行っている。是非ご参加を。
- Q 両郷中央小学校から大久保・木佐美地区の間で人家はあるが日中人気のない地域がある。通学路にグリーンラインはあるが、歩道ではない。
小学校の帰りにスクールバスは無く、送り迎えも無い。
1年生も徒歩である。
先生は「学校の送り迎えは駄目で、歩かせて下さい」と言うが、雨天時は送り迎えをしている。
防犯上なんとかならないものか。
日中は人がいないため、助けを求めても助けてもらえない。
現在、3年生まで女子児童5人が通学。
- A 市当局にも確認するように言ってみる。
- Q 県道川田地区から両郷中央小学校の間で毎年冬季になると凍結によりスリップして交通事故が起きている。対策を講じてほしい。
- A
- Q 川田のトンネルが暗い。
- A 要望として出しておく。

Q 今話題になっている両郷地区での猪の食害に被害が著しく、その為に北金丸に耕作地を借りて営農している住民もいる。

A 昨年、行政視察で訪問した高知県香美市でも鳥獣被害(鹿・猪)が大きく、担当する市職員は自ら狩猟免許を取得し駆除対策に従事しまさに官民一体で駆除対策を講じていました。

ここに猟友会の方が2名いますが逆にお聞きしますが、本市内で捕獲された猪も那珂川町の買取対象に含まれることになったが、その際に県から支払われる害獣駆除の補助金は支給されるのか。

Q 那珂川町の買取対象になると県の補助金は対象外になる。

また、那珂川町の買取の金額を考慮すると、猪の体重は50kg以上が望ましい。罠にかかった猪は発見後にトドメを刺さなければならず素人には難しい、危険も伴うので十分考慮が必要。

A 我々も勉強の上、市には機会を設け提言しています。

Q 罠にかかった猪を見廻るにも免許が必要。銃の免許よりも罠の免許をとってもらったら良いのでは。

A 罠の免許はいくらくらいかかるのか。罠の免許取得にかかる費用を市に負担してもらおうとか、

Q 罠の資格取得の講習には現在も便宜を図って頂いているが、費用についても検討の余地があるのではないか

罠であれば大田原市の方で20人とか30人集めれば、講習してくれるのではないか。試験までやってくれるのではないか。

A そんなことも参考にさせていただきます。

Q 害獣対策の一つとして雑草の刈取りがあるが、刈った草をそのままにしておくと刈った雑草の下にミミズが湧きそれを猪が掘り返し食べ、結果として被害が大きくなったという笑えない話もある

A

Q 両郷地区ではカモシカの害もある。

A

Q 害獣として、アナグマ・ハクビシンも増えている。猪は勿論増えているが大変学習能力が高く、罠による捕獲の効果を上げるには罠の設置個数を増やす必要がある。

A

6. 議会報告会の所感等

- 良かったです。
- PC使用で初めてだが、うまく理解出来なかった。
- 話し合った内容も最後に発表してほしかった。
- ある程度農作業がゆるやかな時期に開催してほしい。
- 自ら検討した事項について報告すべき。